



### 学生の就職支援活動について

長崎県立大学 学生課長 満江 新

私が県立大学学生課に赴任してあつという間に半年が経過しようとしております。今までやってきた業務の知識や経験がほとんど役にたたない全く異質の世界に入った感じが、なんとか切り抜けてきている状況であります。

さて、大学とりわけ学生課としての業務は入試、履修、福利厚生、就職、卒業関係業務などが主なものですが、中でも就職関係業務については保護者の強い要請もあり、私も同時期の子供を持つ親の一人として就職支援業務に熱意を掛けたいと思っております。

の意識を変えていくことが最も肝要かと思っております。最終的には学生本人の意識により決まりますから。とはいえ、学生の就職支援については、のほほんとしているわけにはいきません。どうしたら就職率が上がるか。検討したり、某人事担当課長に情報等を頂いたり。しかしながら、いい智慧が簡単に出来るわけではありませぬ。あれば、先人の人がやっているはずですから。今までの対策をより充実し、着実に実施していくことが、大事ではないかと思っております。

平成11年9月吉日



### 関東支部

●支部長 小室 宏 (52年度卒)  
〒0429-722-7631  
飯能市美形台1-2-15

### 40周年に向けて

同総会のゴイングコンサイン(未来永劫)の継続のためには、若年層会員の参加が不可欠です。関東支部では基本となる支部総会のほかにパーベキュー大会(レクレーション活動)、OBセミナー(3年次生を対象にした就職セミナー)を開催し、より多くの会員の参加を促進していますが、なかなか難しい状況になっております。そこで提案があります。

### 関西支部

●支部長 金子 順興 (47年度卒)  
〒078-794-1053  
神戸市西区学園西町5-2-14

### 仮想井戸端交流会 その1

「井亀さんこの家、僕のマンションよりかなり広いですね。2階もみていいですか」  
「ああ、自由なみでいいよ」  
「この家、一体誰のですか。まさか、井亀さんとはちがいますか」  
「当たり前、俺のやね、実は佐世保の会長の世話で手に入れたんだ。お前も家もてるかもしれんぞ」  
「佐世保の会長いうたら、不動産屋やってまんのか」

### 中国支部

●支部長 久川 勝巳 (46年度卒)  
〒0849-622-2863  
広島県深安郡神辺町徳田2043

### 更に新たな一歩を

平成3年11月に広島県福山市において中国支部設立総会を行って以来、早や8年が経とうとしております。この間、第2回総会を広島市において、第3回総会を山口市において開催し、中国地方の鵬友会会員の輪が徐々に広がっていきました。岡山、山陰地方では何の場を持つにもいたっていません。一日でも早く中国地方全体に鵬友会活動の輪を拡げ、有意義な場づくりをと考えています。会員の皆様の協力をよくお願いいたします。

### 福岡支部

●支部長 浜辺 千昭 (46年度卒)  
〒092-885-0358  
福岡市西区宮原2-2-4の303

### 新しい試みに結束

毎年一度の支部総会・親睦会でお茶を濁していた感のある福岡支部活動でしたが、平成10年度は、本部・大学からの要請により、「福岡支部就職セミナー」を十一月十四日、十六日の三日間のスケジュールで実施いたしました。



当日は、佐世保からの参加学生三十四名に対し、就職活動の基本知識などを始め、学生全員が試験官となって採点した実践的な面接練習、更には某市内在住のOBを迎えての懇親

### 佐賀支部

●支部長 石井 博史 (46年度卒)  
〒0954-233-1477  
佐賀市佐賀南大字武雄6699

### 支部の活性化を

佐賀市は、八月六日(金)午後七時から佐賀市で総会(懇親会)を開催し、前田本部長と岡崎先生(開学立時から在籍)にご臨席いただき計十七名が旧交を温めました。

### 大分支部

●支部長 瓜生田 憲治 (47年度卒)  
〒0975-211-6206  
大分市大字追3-17-1

### すこやかに育っています。大分支部

昭和61年の頃、ほんの数人の同窓生仲間が酒を飲みながら、いつか同窓会ができたというよい後輩たちのために、という語り合っていた。そんな飲み会が輪がだんだん広がって、大分弓張会が平成5年に16人の会員により発足、米澤氏が初代会長に選出された。

「ちゃう、散髪屋や。10分800円のところがうで、洗髪込30分1800円。いま、はやりのやつや」  
「ほんなら、だいぶもうけてまんねんやろな」  
「そこまで、俺は知らんで」  
「あんた土国建設って聞いたことあるやろ」  
「ああ、更正法の土国でつか」  
「そうや、そこに同窓生がおつて、なんでも、債務者が、不動産早う処分したがつてたんや、まあ結果的には銀行や競売かけ前に手に入れたらいいことや、その同窓生の人柄がよかつたのちがうかな。まあ相場の6掛け位かな」  
「へえ、不動産に、掘り出し物なしということわざはあてにならまん」  
「井亀さん、今度子供が田長高校行きたい言うてまんねん。俺、子供のことは嫁はんにかまかせてから、ようわかへん。それ、どんな高校でつか」  
「おまえそんなことも知らんのか。神戸で一番入りにくい公立高校で中学校のクラスでも1番か2番しか行かへんやで」  
「へえ俺の九州時代やったら、たいい奴は希望のところがへ入りよつたのに、都会は事情がちがいまんねん」  
「同期に2人共、その高校入れたんがおつたで。そうそう、そいつはあんたの相談相手にびつたつたから」  
「その話、ほんまですかいな」  
「そうや、受験産業の片棒かつぐことないしな」(続く)